

別紙

イオンモール広島府中 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

イオンモール広島府中

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡府中町2丁目1-1

(3) 業種

貸事務所業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成17年度を基準年度とし、平成19年度から平成23年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)		目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)		計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))						
	平成17年度	平成23年度	平成23年度	削減率(c)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	削減率(e)	
エネルギー 起源CO ₂	10,400	9,776	9,776	93.99%							
非エネルギー 起源CO ₂		6.0	6.0	100.00%							
メタン											
一酸化二窒素											
フロン類											
温室効果ガス 実排出量総計	10,400	9,776	9,776	93.99%							
温室効果ガス みなし排出量		6.0	6.0	100.00%							
実績に対する 自己評価	エネルギー起源CO ₂ は、排出量は、基準年度比10.4%の削減となった。										

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》
 原単位算定に用いた指標：専門店荒場面積 (共用部) × 営業時間

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)		目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))						
	平成17年度	平成23年度	平成23年度	削減率(c)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	削減率(e)	
エネルギー 起源CO ₂											
非エネルギー 起源CO ₂											
メタン											
一酸化二窒素											
フロン類											
温室効果ガス 総排出量											
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)	0.03794	0.03566	0.03566	94.26%	12.2	16.2	19.6	20.5	31.3		
実績に対する 自己評価											

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1 電気使用量の削減	基準年度（平成17年度）の使用量に対し31.1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機用省エネバルブの採用 ・開店時以外の不要照明消灯 ・冷水2次ポンプ運転台数制御 ・空調機運転時間の短縮 ・屋上エレベーターホール他の空調機停止、昇降機停止、照明消灯 ・熱源ブライズポンプ運転周波数の適切化 ・蓄熱量使い切り制御導入（冷凍機の昼間電力消費を抑制） ・残暑0以降のターボ冷凍機同時2台追掛け運転禁止 ・冷水ポンプ送水圧力の適切化 ・冷水系統に膨張タンクを新設し自動制御を適切化 ・冷水供給温度の適切化 ・エアコン設定値の標準化 ・壁面ライオンアツア照明消灯 ・後方エアコンのオートオフ機能リモコン取付け ・冬季の外調機回転数変更 ・冬季の2F・3Fのファンコイルユニット（冷房運転）停止 ・冬季の入口周り、立駐エレベーターホールのパッケージエアコン（暖房運転）停止 ・立体駐車場照明外周部風間消灯 ・営業中の照明間引消灯による照度の適切化
2		
3		
4		

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

項目	数値目標	具体的な取組み

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどを記載いただければ記入してください。